



# 沓掛小学校だより

6月号

未来を拓く ～元気・やさしさ・かがやく瞳～

NO. 567

<http://www.suginami-school.ed.jp/kutsukakeshou>

## 興味・関心・意欲をもつためには

校長 師岡 孝明

「好きこそもの上手なれ」という諺があります。好きな事にはおのずと熱中できるから、上達が早いものだ。何事に対しても、好きであれば自然とそれに熱中するので上達する。という意味で使われますが、なかなか学習や勉強と呼ばれるものに対しては、興味・関心・意欲が高まりにくいものです。すべての子供たちに、興味・関心・意欲を持続させながら学習や勉強に取り組ませることが難しいため、それぞれの学校で様々な手立てを施しているところです。沓掛小学校では、その一環として算数科では1年生から6年生まで習熟度別の少人数指導を実施しております。1年生は現在学習基盤を整えるために、少人数を目指した指導体制をとっております。

社会の中で生きていくうえで、教科の学習に限らずどのようなことに対しても興味をもって取り組み、目的を達成するまで意欲をもち続けることが大切なのではないでしょうか。その典型的な表れが、趣味に対する取り組みではないかと考えられます。趣味に対する取り組みは、まさに、興味・関心、そして意欲が一緒になって、結果を導き出すという姿そのものだと思います。

あらゆる物事に対して趣味と同程度の興味・関心・意欲をもつことは難しいことですが、例えば今現在趣味として捉えていること自体、初めから趣味だったわけではないはずです。きっと最初は何も知らないことだったに違いありません。誰かが導いてくれたことをきっかけとして、興味・関心・意欲が出てきて取り組み始め、さらに継続している、というのが趣味をもっている方の

大方の意見ではないでしょうか。

学校の教育活動は、子供たちの未知の部分に最初に導くところだと考えています。子供たちにとっては何事も初めての連続です。その初めてのことに對して、いかにして、興味・関心・意欲をもたせるかを日々考え実践しています。子供たちの知らないことを、または日常的に不思議だと感じていることを契機にして、学習の導入を工夫しています。子供たちにとっては初めは知らないことなので、どのように取り組んだらよいのか、不安でいっぱいなのかもしれません。だからこそ、先生の話をしっかり聴き取り、何をどうすればよいのか理解することから始めなければなりません。途中で、今まで学習したり経験したりしたことが想起される場合もあるかもしれません。その過程で自分の思いや考えをもちながら取り組めば、学習が面白いと感じるようになってくると考えています。

「小学校で学習することは、大人になればすぐ理解できる。」「自分でしなければならぬと気付けば、学習するようになる。」というようなことを周りの大人が思っていないでしょうか。子供の成長に関わっている大人として、「今、努力することで興味・関心が高まる。」ということを実際に味わわせてやりたいと、共に考えて、学校教育・家庭教育に生かしていこうと思っております。

6月には学校公開が予定されています。授業を御覧になって子供たちの興味・関心・意欲がどうであったかを事後お伝えいただければ幸いです。